

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証願います(提出期限 7月20日(金))。検証は法人ごとに行うもので、法人間の比較を行うものではありません。

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

4 ブロック : 2-1-1 効果的な組織体制の確立 ~ 2-2-3 費用の削減

2-1-1 効果的な組織体制の確立

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>																																															
<p><b>項目番号 19</b></p> <p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> 医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう弾力的な診療体制づくりを進め、迅速で柔軟性のある業務運営に努め、当センターが有する各種機能が最大限に発揮できる組織体制の充実を図る。</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> 人事給与システム、旅費システム等の機能の見直しを随時実施し、効率的な事務環境をつくりあげていく。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入による合理化</b> 新たなアウトソーシングの導入については、病院経営とのバランスを考慮しながら、委託内容や方法などの見直しを行う。</p>	<p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> 平成 29 年度、新たに医療通訳業務を行う専門職を加え、組織力の強化に努めた。</p> <p>○専門職等雇用状況 (各年度末時点) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未収金整理業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>診療報酬請求業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>相談業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急災害対策業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>診療情報管理士</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療通訳業務</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>病棟外来看護事務 ※</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>看護助手 ※</td> <td>78</td> <td>77</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>164</td> <td>166</td> <td>159</td> </tr> </tbody> </table> <p>名称変更(H29):看護クラーク→病棟外来看護事務 ※は補助職</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> ASP サービス (Application Service Provider Service: インターネットを通じて顧客にビジネス用アプリケーションをレンタルするサービス) による人事・給与システムの活用や旅費計算ソフトにより、業務の効率化を図った。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入による合理化</b> ・庁舎管理部門 (設備管理、清掃、防災他)、情報システム関連部門や医業部門 (給食、医事業務、洗濯業務他) の専門的技術が必要とする部門について、アウトソーシングを導入し、業務の合理化を図っている。 ・導入したアウトソーシングについては、必要に応じて委託内容や方法の見直しを実施しており、給食業務について、平成 30 年度からの委託内容の拡大に向けた検討を行った。また、医事業務については、平成 30 年度以降に向けたプロポーザルを実施し、契約期間を 3 年とすることにより経費の削減を図った。</p>	項目/年度	H27	H28	H29	未収金整理業務	1	1	1	診療報酬請求業務	1	1	1	社会福祉士	1	1	1	相談業務	1	1	1	救急災害対策業務	1	1	1	診療情報管理士	-	1	1	医療通訳業務	-	-	1	医療クラーク	53	54	55	病棟外来看護事務 ※	28	29	22	看護助手 ※	78	77	75	合計	164	166	159	III	<p><b>項目番号 17</b></p> <p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> ・事務局に「施設整備課」を新設し、新棟整備と施設整備の連携強化及び機能充実を図る。 ・電子カルテ等医療情報の整備推進のため、「医療情報システム開発部」を新設する。 ・平成 29 年 2 月に設置した「感染管理部」において、感染対策の機能強化と体制の充実を図る。 ・医療相談室と医療連携室を統合して「医療連携相談課」とし、相互の連携を強化することにより、前方支援 (紹介患者の受入、早期医療相談など) と、後方支援 (逆紹介、転院調整、在宅医療の支援など) の充実と円滑に推進する体制づくりを進める。</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> ・職員向けの IT 研修を実施し、各種業務の IT 化に順応できるよう個々の職員のスキルアップを図る。 ・医療総合情報システムなどの各種端末の見直しや、ネットワークの合理化とセキュリティの向上を図るなどの IT 環境整備を進める。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入などによる合理化</b> ・アウトソーシングを導入している物流管理システム (SPD) は、材料消費データの精緻化を行うとともに、使用データなどの分析を行い、業務精度の向上を図る。 ・給食業務委託において、食材購入を含めた単価契約方式の導入をし、効率化及び費用削減、事務業務負担軽減による栄養食事指導等の体制強化を進める。 ・各種業務の合理化を目的に、アウトソーシングの導入又は見直しを検討し、業務のスリム化を図</p>	III	<p><b>項目番号 16</b></p> <p><b>1 効率的かつ効果的な組織体制の充実</b> 理事長と院長の職務と権限を明確化したことにより、効率的な病院管理を行うとともに、経営改善に努力していく。また当院の理念を職員全員が理解し、その実現に向けて組織的に取り組むため、次のとおり職種間のコミュニケーションや相互連携を深める。 ・幹部会を活用し、組織の意志を明確にするとともに、管理会議等で情報共有を図る ・職員一人ひとりが医療スタッフ毎の役割と義務を自覚し、職務に取り組む</p> <p><b>2 各種業務のIT化の推進</b> 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなど IT を活用した各種事務合理化を進める。</p> <p><b>3 アウトソーシング導入による合理化</b> 定期的な業務についてはアウトソーシングの導入を検討する。</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の充実</b> 経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を充実するとともに、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営に努め、「企業体意識」の向上を目指す。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員については定年延長や再雇用に努める。さらに、各種経営分析を行い、その結果を経営に活用する。</p>	III
項目/年度	H27	H28	H29																																																			
未収金整理業務	1	1	1																																																			
診療報酬請求業務	1	1	1																																																			
社会福祉士	1	1	1																																																			
相談業務	1	1	1																																																			
救急災害対策業務	1	1	1																																																			
診療情報管理士	-	1	1																																																			
医療通訳業務	-	-	1																																																			
医療クラーク	53	54	55																																																			
病棟外来看護事務 ※	28	29	22																																																			
看護助手 ※	78	77	75																																																			
合計	164	166	159																																																			
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72 件</td> <td>74 件</td> <td>77 件</td> </tr> </tbody> </table>	27 年度	28 年度	29 年度	72 件	74 件	77 件																																										
27 年度	28 年度	29 年度																																																				
72 件	74 件	77 件																																																				

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)	自己評価		・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)	自己評価		・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)	自己評価
<p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> 事務局職員の病院運営や医療事務等に係る能力向上を支援することで、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を整備する。 また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用することで、質の高い業務執行を推進する。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> 危機管理事案発生時において、情報を収集・共有し、関係機関へ提供できる体制を整備し、職員への周知を図る。</p>	<p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> ・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる看護師、管理栄養士等を再雇用し、更なる充実を図った。 ・平成 28 年度に改正した非常勤職員の就業規則に関し、契約更新時の基準及び無期労働契約時の労働条件を検討・整備した。また、平成 28 年度に引き続き人事評価を実施した。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> ・岐阜県医療事故調査等支援団体連絡協議会に参加し (H30.1 開催)、医療事故の現状把握と関係機関との情報共有を行った。</p>		<p>る。</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> ・今年度の診療・経営方針 (重点事項・目標) の明確化・共有化を図り、その進捗管理に努める。 ・「病院経営に関するコンサルタント業務」を引き続き活用し、費用の節減を図る。 ・委託業務評価システムを推進し、業務委託の改善、向上を図る。 ・職員の診療情報管理士など経営に関する資格取得や、経営企画能力の向上のための研修会などの参加促進を支援する。 ・再雇用制度等を推進し、有能な人材の確保に努める。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> ・すでに構築した「緊急時連絡フロー」や「院内暴力対応マニュアル」などでの警察、消防、保健所への連絡体制について検証を行い、改善を進める。 ・引き続き、緊急連絡システム配信試験を実施し、緊急連絡網の改善と周知をする。</p>	<p>上を図った。 ※平成 27 年度に委託業務評価に関する実施要領を制定し、業務委託契約の内容を点検、評価している。各委託業者自己評価に基づき内容を検証し、次年度以降の改善・向上に寄与している。</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> ・契約業務の適正化、及び改善・向上対策を図るため、医療コンサルタントを活用した。また、委託業務評価を行い、その評価結果に基づき契約内容を検証し、必要に応じて改善及び向上を図った。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> ・訓練に併せて配信試験を 2 回実施したほか、職員への情報伝達をより確実にするため、重層的な連絡システムの導入の検討を進めた。</p>		<p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> 危機管理事案発生時には、病院全体で対応できるよう、幹部会などを活用した速やかな情報共有体制の構築を図るとともに、関係機関への適切な情報提供を行う。</p> <p><b>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</b> ・毎朝行う幹部会において、危機管理事案の報告と併せて対策を講じるとともに、管理会議において情報共有を行った。 ・夜間の防犯体制強化のため、夜 8 時以降 (売店閉店時間) の 1 階通路を制限するとともに、警備員による巡視点検回数を増やした。 【No.2 再掲】 ・災害対策マニュアルを見直し、災害レベルに応じた参集基準を定め、災害発生時における院内体制を整備した。</p>		
過去の実績報告書に記載された改善方策 (改善が完了したものを除く。)	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策 (改善が完了したものを除く。)	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策 (改善が完了したものを除く。)	自己評価理由	
昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価		昨年度の評価結果に対する取組状況	食材管理を含めて患者給食業務を外部委託したことにより、管理栄養士が栄養管理・栄養指導業務に専念できる環境を整えることができ、効果が得られたが、項目全体としては平年並みの実績と評価		昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。	

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																													
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																												
	・特に進捗した取組	自己評価		・特に進捗した取組	自己評価		・特に進捗した取組	自己評価																																											
<p><b>項目番号 20</b></p> <p><b>1 弾力的運用の実施</b> 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。</p> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b> 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用等、効果的な体制による医療の提供に努めるとともに、医師事務作業補助職員及び看護補助職員による医療職サポートシステムの充実を図る。</p> <p><b>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</b> 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特異性に配慮し、人事交流を行うことで、職種による人材の過不足を相互に補い、適正な職員配置を実現する。</p>	<p>1 弾力的運用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度、診療部門に胆膵内科を設置し、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。</li> </ul> <p>2 効果的な体制による医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。</li> </ul> <p>○医師・看護師事務作業補助者数（年度末現在） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>病棟外来看護事務</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>81</td> <td>83</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <p>※再掲</p> <p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人事交流により、平成 29 年度は助産師 1 人を受け入れた。</li> </ul> <p>○他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H27	H28	H29	医療クラーク	53	54	55	病棟外来看護事務	28	29	22	合計	81	83	77	項目／年度	H27	H28	H29	看護師	0	0	1	コメディカル	0	0	0	合計	0	0	1	III	<p><b>項目番号 18</b></p> <p><b>1 弾力的運用の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各診療部門の状況や患者動向の変化に迅速に対応できるよう、医師、看護師、臨床心理士等の人事配置で弾力的な運用を行う。</li> </ul> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師クラークキャリア形成支援制度を活用し、個人の資質向上を目指すことで弾力的な配置体制や業務のフォローアップ体制を強化し、医師の負担軽減と質の高い業務の提供を目指す。</li> <li>病棟・外来看護事務補助者、看護補助者の強化により、看護師の負担軽減を図る。</li> <li>連携バスコーディネーターによる地域連携クリニックバスの普及や運用の推進を継続する。</li> </ul> <p><b>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な職員確保及び配置を図るため、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院との間で、人事交流調整を引き続き進める。特に看護師、薬剤師、といった医療技術職員を相互に派遣し、各地域における医療サービスの水準を維持する。</li> </ul>	<p>1 弾力的運用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>血液浄化センターの本格稼働にともない、看護師等を必要数配置し、関係部門との連携を強化したことにより透析導入期の患者や維持透析が必要な紹介患者の円滑な受け入れが可能となった。</li> <li>定年退職後、再雇用した放射線技師 2 名のうち 1 名を医療連携業務に従事させ、そのキャリアを生かして地域の開業医との連携強化や住民を対象とした健康づくり講座の充実を図った。</li> <li>医療連携相談課医療連携担当に看護師 1 名を配置し、連携予約体制の強化を図った。</li> <li>看護師の業務負担軽減のため、介護福祉士 14 名とヘルパー 5 名を採用し、病棟に配属した。【再掲：No.03】</li> <li>精神保健福祉士 1 名を平成 30 年 2 月 1 日から精神科病棟に配属した。【再掲：No.05】</li> </ul> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師事務作業補助者については、43 名の人員を確保し、医師事務補助体制 15 対 1 を継続して充足することができた。電子カルテの操作訓練や書類作成演習等、実務に即した研修を積極的に実施し、個人の資質向上による質の高い医療の提供を目指した。</li> </ul> <p>【研修の実施】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本医師事務作業補助研究会への参加（7 人） 学習した内容は、資料の回覧や医師クラークミーティングでの発表により、全員にフィードバック</li> <li>院内研修会の開催（17 回）</li> <li>新規採用者に 35 時間の研修を実施</li> </ol> <p><b>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流実績はなかった。</li> </ul>	III	<p><b>項目番号 17</b></p> <p><b>1 弾力的運用の実施</b></p> <p>医療需要の変化や患者の動向に迅速に対応するため、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用に努める。特に看護師については業務量に応じ柔軟な職員配置を行う。</p> <p>また、病棟薬剤業務実施加算の取得に向けて、薬剤師の確保に努め、マニュアルや業務の具体的内容等を整備するとともに、薬剤師の病棟配置について検討を行う。</p> <p>その他、障がい者雇用にも努め、適切な職員配置を促進する。</p> <p><b>2 効果的な体制による医療の提供</b></p> <p>【多様な勤務形態の非常勤職員の活用】</p> <p>○看護部では看護協会 WLB（仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み）の推進を受けて、働きやすい職場作りを目指し勤務体制の検討に取り組んだ。</p> <p>看護必要度の高い時間帯に人員が配置できるように遅出・早出時間の検討を行い、週 30 時間・週 35 時間勤務の非常勤職員も休日を含めた早出・遅出勤務を行うことで効率的な 7：1 看護体制の維持に取り組んだ。</p> <p>○医師事務作業補助者(医療クラーク)については、計画的な配置により、医師の事務負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師事務作業補助体制加算(40 対 1)</li> </ul> <p>○医事業務専門職の増員による受付業務等の直営化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度以降、外来受付と診断書受付等業務を直営化し、効率的な業務遂行を図っている。</li> </ul> <p>【医師事務作業補助者数ほか】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>6 名</td> <td>6 名</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>医療サービス業務専門職</td> <td>19 名</td> <td>20 名</td> <td>20 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度 3.31 時点</p> <p><b>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</b></p> <p>平成 29 年度は岐阜県総合医療センターへ助産師 1 名が出向した。引き続き必要に応じて 3 法人</p>	職 種	27 年度	28 年度	29 年度	医師事務作業補助者	6 名	6 名	7 名	医療サービス業務専門職	19 名	20 名	20 名	III
項目／年度	H27	H28	H29																																																
医療クラーク	53	54	55																																																
病棟外来看護事務	28	29	22																																																
合計	81	83	77																																																
項目／年度	H27	H28	H29																																																
看護師	0	0	1																																																
コメディカル	0	0	0																																																
合計	0	0	1																																																
職 種	27 年度	28 年度	29 年度																																																
医師事務作業補助者	6 名	6 名	7 名																																																
医療サービス業務専門職	19 名	20 名	20 名																																																

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																										
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価																																								
						<p>独立行政法人岐阜県立多治見病院との間での人事交流を積極的に行うことで、適正な人員配置を実現する。</p> <p>今年度も引き続き、職種又は職位によって発生する人員の過不足に対処するため、3法人間で相互に職員を派遣し、医療サービスの水準を維持する。</p>	<p>間で相互に職員を派遣し、医療サービスの水準を向上する。</p> <p>【他法人からの受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【他法人への出向状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> <td>1 名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	27 年度	28 年度	29 年度	薬剤師	-	-	-	検査技師	-	-	-	臨床工学技士	-	-	-	計	0 名	0 名	0 名	職種	27 年度	28 年度	29 年度	看護師	-	-	-	助産師	-	-	1 名	薬剤師	-	-	-	計	0 名	0 名	1 名	
職種	27 年度	28 年度	29 年度																																													
薬剤師	-	-	-																																													
検査技師	-	-	-																																													
臨床工学技士	-	-	-																																													
計	0 名	0 名	0 名																																													
職種	27 年度	28 年度	29 年度																																													
看護師	-	-	-																																													
助産師	-	-	1 名																																													
薬剤師	-	-	-																																													
計	0 名	0 名	1 名																																													
過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由 継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価	過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由 血液浄化センター稼働に伴う柔軟な職員配置、介護福祉士等の採用による病棟看護師の負担軽減等、一定の成果は得られたが、項目全体としては、平年並みと評価	過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由 ・病棟薬剤業務実施加算 (●) 現在、各病棟に薬剤師を配置し薬剤管理指導業務を含めた業務を展開している。また、担当薬剤師によるカンファレンスなどを行い資質向上にも努めている。 しかし、薬剤師の欠員補充ができず実施加算の算定要件を満たさないため、引き続き人員の確保に努める。	自己評価理由 継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。																																										
昨年度の評価結果に対する取組状況		昨年度の評価結果に対する取組状況		昨年度の評価結果に対する取組状況																																												

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-3 人事評価システムの構築

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	
			<p><b>項目番号 19</b></p> <p>1 人事評価システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本格実施した人事評価制度のさらなる見直しを行い、目標管理、職員の人材育成、人事管理・処遇に活用する。</li> </ul>	<p><b>1 人事評価システムの構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院全体の重点項目及び数値目標に対し、職員個人・部門組織等で目標を設定し、その貢献度により手当を支給する業務貢献手当を新設した。</li> <li>業務貢献手当の支給決定には、人事評価の仕組みを活用する等、人事評価結果と業務貢献手当支給を関連付けし、職員個人・部門組織等の業務目標に対する達成意欲の向上を促し、病院全体の重点項目及び数値目標の達成を実現できる仕組みを整えた。</li> </ul>	IV	<p><b>項目番号 18</b></p> <p>職員の実績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成及び人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度の構築と試行を実施する。</p>	<p><b>○人事評価システムの構築</b></p> <p>意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、平成 28 年度から、事務局非常勤職員に対する人事評価の本格施行、事務局常勤職員に対する試行（年度後半）を行っているが、平成 29 年度から、事務局常勤職員に加えコメディカル職員に対して、年間を通した人事評価（試行）を行った。</p> <p>また、職員の実績や資格等に対しても、再評価し、特別昇給への反映などで職員のモチベーションが下がらないようにした。</p> <p>看護部においては、引き続きクリニカルラダー評価により昇格・昇任・特別昇給を実施した。</p> <p>また、非常勤看護補助者については、評価表を作成し、自己評価後、師長・部長等面接を行うことにより、意欲向上に努めた。</p> <p>組織が望む能力を示したことで各自振り返り、教育への希望や業務への提案をするなどの姿勢がみられるようになった。</p>	IV
過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由	
昨年度の評価結果に対する取組状況			昨年度の評価結果に対する取組状況	個人の目標達成が、病院全体の重点項目・数値目標に直結する仕組みが整備され、進捗したと評価		昨年度の評価結果に対する取組状況	人事評価については、評価対象者の範囲を広げ（事務局常勤職員に加え、コメディカル職員も対象とした）、期間も半年から年間を通した人事評価（試行）としたことなどを評価し、項目全体で特に進捗していると評価	

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-4 事務部門の専門性の向上

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																					
H29 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>		自己評価				<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>		自己評価																			
<p><b>項目番号 21</b></p> <p>経営管理機能を強化するため、病院事務に精通し、経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保する。また、専門性の向上に計画的に取り組むため、診療報酬等の医事業務や診療情報分析、病院経営に係る財務経営分析、危機管理等専門性の高い業務に関する研修への参加及び資格取得の支援をするなど、事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を育成する。</p>		<p><b>事務部門の専門性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保するため、プロパー職員を計画的に採用 (3人) した。</li> <li>・専門性の向上のため、職務に関連する研修への参加を支援した。</li> </ul> <p>○事務職員の状況 (年度末現在)</p> <p style="text-align: right;">単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64</td> <td>63</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>		項目/年度	H27	H28	H29	プロパー職員	53	54	57	県派遣職員	11	9	8	合計	64	63	65	III		<p><b>項目番号 20</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロパー職員の採用を計画的に進めるとともに、病院経営等に精通した外部人材の確保 (経験者採用) に引き続き取り組む。</li> <li>・新規採用職員研修を始めとし、事務職員としての総合的な資質を高めつつ、専門性の向上を図る。</li> <li>・診療情報の分析、活用による経営企画能力の向上のため、職員の診療情報管理士資格の取得を支援する。</li> <li>・業務委託となっているDPCコーディング業務については、職員自ら行う検証に向けた体制づくりと能力向上に努める。</li> </ul>		IV		<p><b>項目番号 19</b></p> <p>病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となる職員を計画的に確保するとともに、職員には診療報酬事務、病院経営等の専門研修に積極的に出席させるなど、事務部門の専門性の向上に努める。</p> <p>また、病院経営幹部職員も各種病院マネジメント研修を受講し、経営改善に役立てる。</p> <p>事務部門における診療部門の支援・強化を図るため、事務職員の診療情報管理士及び医療情報技師の資格取得を支援する。</p>		III	
項目/年度	H27	H28	H29																										
プロパー職員	53	54	57																										
県派遣職員	11	9	8																										
合計	64	63	65																										
過去の実績報告書に記載された改善方策 (改善が完了したものを除く。)		自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策 (改善が完了したものを除く。)		自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策 (改善が完了したものを除く。)		自己評価理由																			
昨年度の評価結果に対する取組状況		継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価		昨年度の評価結果に対する取組状況		階層別マネジメント研修の導入など、事務部門の専門性の向上に関する取組を評価		昨年度の評価結果に対する取組状況		継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。																			

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-5 コンプライアンス（法令や倫理の遵守）の徹底

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院								
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価						
<p><b>項目番号 22</b></p> <p>医療法をはじめとする国の法令や関係規程、法人が定める倫理方針や各種規程を遵守し、職員に対し定期的な意識啓発を実施する。監事監査、内部監査、監査法人監査等の実施により、チェック体制を確立し、コンプライアンスを確実なものとする。</p> <p>岐阜県情報公開条例に基づく公文書の公開及び岐阜県個人情報保護条例その他法人規程に基づくカルテ等医療情報の開示を着実にを行い、医療の透明性を確保するとともに、医療情報提供の環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用職員に対して個人情報保護に関する研修を行った。</li> <li>平成 29 年 10 月、全職員を対象にした個人情報保護に関する研修を実施し、133 人が参加した。</li> <li>監事監査、内部監査及び監査法人監査の実施により、コンプライアンスを徹底した。</li> </ul>	III	<p><b>項目番号 21</b></p> <p>1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>監事監査、内部監査を引き続き定期的実施し、適正な業務執行の確認体制を継続する。</li> <li>コンプライアンスの体制を確立するため、就業規則や倫理規程等のパンフレットを作成し、教育研修やさまざまな会議を通じて意識啓発や周知徹底を図る。</li> <li>岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に基づきカルテ等医療情報の開示を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>監事監査や内部監査による確認指導に加え、新規採用職員に対するコンプライアンス研修を実施し、当院の職員としての意識啓発及び周知徹底を行った。</li> </ul> <p>【コンプライアンス研修開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>講師・開催回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29.4～H30.3</td> <td>講師：事務局長及び人事給与担当職員 開催回数：12 回</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table>	開催期間	講師・開催回数	参加者	H29.4～H30.3	講師：事務局長及び人事給与担当職員 開催回数：12 回	91	III	<p><b>項目番号 20</b></p> <p>県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、医療情報の情報開示については、岐阜県個人情報保護条例及び岐阜県情報公開条例に基づき、適切に対応する。</p> <p>職員に対しては、コンプライアンスについて研修するなど意識啓発に関する取組を実施するほか、監事監査や内部監査などによる検証・評価に努める。</p>	<p>医療情報の情報開示については、診療情報の提供に関する指針に基づき、適切な対応を行った。</p>	III
開催期間	講師・開催回数	参加者												
H29.4～H30.3	講師：事務局長及び人事給与担当職員 開催回数：12 回	91												
過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由							
昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価		昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価		昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。							

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-1-6 適切な情報管理

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価
<p><b>項目番号 23</b></p> <p>新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、全職員を対象とした情報セキュリティ研修も実施することにより、職員の情報セキュリティ意識の向上を図る。</p>	<p>○適切な情報管理</p> <p>・新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、「情報セキュリティ通信」を随時発行することにより全職員への啓発を行い、情報セキュリティ意識の向上を図った。また、情報ネットワークのセキュリティ対策、USB メモリ等のデバイス制御、メールのウイルスチェック等のセキュリティ対策の維持・管理を行った。</p>	III	<p><b>項目番号 22</b></p> <p>1 情報セキュリティ対策の推進</p> <p>・職員等に対する情報セキュリティの教育や啓発を定期的に行い、情報セキュリティ意識の向上を図るとともに、不正プログラム・不正アクセス対策などの情報セキュリティ対策の推進及びチェック体制の確立を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員等に対する情報セキュリティ研修や、情報セキュリティチェック（チェックシートによる自己確認）を実施した。</li> <li>ネットワークに接続する関連システム（NetSkateKoban）サーバーの更新、電子カルテ端末管理システム（SkySea）のプログラムを最新版にアップグレードする等により、不正接続や端末管理の監視体制を強化した。</li> </ul>	III	<p><b>項目番号 21</b></p> <p>情報セキュリティ基本方針・対策基準に基づく業務の情報セキュリティ対策の充実及びチェック体制の確立に努めるとともに、職員等を対象に院内研修を実施し情報セキュリティ意識の向上に取り組む。</p>	<p>○適切な情報管理</p> <p>新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、日々進化する未知のウイルス・不正プログラムに対応するため次世代ファイアウォールを導入し、セキュリティ強化を図った。</p>	III
過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由	
昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的に取組ができていますが、平年並みの実績と評価		昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価		昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。	



# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-2-1 多様な契約手法の導入

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																						
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価																				
<p><b>項目番号 24</b></p> <p>業務内容の集約化・簡素化・迅速化・費用削減等の提案を評価するプロポーザル方式による業者選定や複数年契約等多様な契約手法の導入を検討する。</p> <p>また、ベンチマーク分析や経費圧縮等に関するアドバイザーを活用することにより、効果のある契約方法の検討と経費の節減を図る。</p>	<p><b>○多様な契約手法の導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数年契約等を導入し、集約化・簡素化による経費の削減を図った。</li> <li>診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。ベンチマークを活用した価格交渉や品目切替の結果、年間約 3,600 万円のコスト削減ができた。</li> <li>継続して各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。</li> <li>複数メーカーの機種選定を勧め、ベンチマークを利用した交渉による医療機器の購入を行い、当初の予定金額より年間約 1 億 3,900 万円のコスト削減ができた。</li> <li>医療機器保守については、交渉等による見直しにより 3 件約 557 万円のコスト削減ができた。</li> </ul>	IV	<p><b>項目番号 23</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>契約方法の点検を行い、プロポーザルや複数年契約などの多様な契約手法についての検討を行う。</li> <li>高度医療機器において購入後のメンテナンス費用も含めた契約など、仕様を含めた契約方法についての検討を行う。</li> <li>引き続き「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用することにより効果的な契約方法や費用の妥当性についての情報収集及び検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器の保守点検業務委託について、複数の機器の包括契約や複数年契約により経費の節減を図った。</li> <li>警備業務、清掃業務、新中央診療棟整備包括支援業務、新中央診療棟等基本設計・実施設計業務については、プロポーザル方式による業者選定を実施し、複数年契約を締結した。</li> </ul>	III	<p><b>項目番号 22</b></p> <p>他の病院の取組を参考に、複数年契約や複合契約、長期継続契約などの多様な契約手法の検討、導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。</p> <p>特に、高度医療機器については、購入後のメンテナンス費用も考慮する必要があることから、メンテナンスも含めた入札及び契約方法の導入について検討を行う。</p> <p>また、既に締結した保守契約については、常に見直しを行い、病院全体として支出を抑えていくよう精査を行う。</p> <p>薬剤・診療材料の購入にあたっては、より安価に購入するよう努める。</p>	<p><b>○多様な契約手法の導入</b></p> <p>【管財担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度分からの電気受給契約については、契約方法を一者随契から一般競争入札とし、経費削減を図った。</li> <li>医療機器のメンテナンス費用（保守委託）については、各部門長及び実施業者と業務内容の精査とその必要性を協議し、複数年契約業務も含めてスポット契約に切り換える等大幅に内容を見直し、経費削減を図った。</li> </ul> <p style="text-align: right;">単位：千円（税込）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>契約額</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料金</td> <td>81,425</td> <td>78,376</td> <td>▲3,049</td> </tr> <tr> <td>放射線機器保守 11 件</td> <td>66,871</td> <td>51,202</td> <td>▲15,669</td> </tr> <tr> <td>検査装置保守 7 件</td> <td>12,164</td> <td>4,115</td> <td>▲8,049</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>160,460</td> <td>133,693</td> <td>▲26,767</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後、見直しによる修繕費の増加も考えられるため、見直しに伴う各機器の保守委託料とスポット契約後の修繕費を集計し、複数年度で比較・分析の上、関係部署とより有利な契約方針を決定していくこととする。</li> </ul> <p>○次の維持管理業務については、平成 30 年度から 3 年間の複数年契約を改めて締結し、契約事務の集約化・簡素化・効率化を図るとともに、経費の節減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>警備業務、機械、監視室等保全管理及び電話交換業務、建物清掃委託業務</li> </ul>	契約額	H28	H29	減額	電気料金	81,425	78,376	▲3,049	放射線機器保守 11 件	66,871	51,202	▲15,669	検査装置保守 7 件	12,164	4,115	▲8,049	計	160,460	133,693	▲26,767	IV
契約額	H28	H29	減額																									
電気料金	81,425	78,376	▲3,049																									
放射線機器保守 11 件	66,871	51,202	▲15,669																									
検査装置保守 7 件	12,164	4,115	▲8,049																									
計	160,460	133,693	▲26,767																									
過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由	過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由	過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由																							
昨年度の評価結果に対する取組状況	ベンチマークを活用した価格交渉や品目切替によるコスト削減に加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。	昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価	昨年度の評価結果に対する取組状況	電気受給契約については、一般競争入札を導入することにより経費削減を図っている。また、医療機器のメンテナンス費用（保守委託）については、業務内容を精査し、複数年契約業務も含めてスポット契約に切り換える等大幅に内容を見直し、経費削減を図っている点を評価し、項目全体で特に進捗していると評価。																							

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-2-2 収入の確保

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																																																							
H29 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>		自己評価				<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>		自己評価																																																																																					
<p><b>項目番号 25</b></p> <p><b>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</b></p> <p>長期入院の患者数を常に把握しながら空床管理マニュアルを活用し、あわせて病診連携による退院調整を促進し、在院日数の短縮及び病床利用率の向上に努める。</p> <p>また、医療機器については、開放型病床登録医師との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上に努める。</p> <p>CT、MRI及び上部消化管内視鏡検査については、検査のみの希望も病診連携部を介したFAX予約を可能とし、医療機器の効果的な活用を努める。</p> <p><b>2 未収金の発生防止対策</b></p> <p>診療費に係る未収金の発生防止対策として、緊急に入院となった患者への面談を実施することで保険確認や支払相談に早期に着手することで未収金発生を未然防止を徹底する。</p> <p>また、平成23年10月から導入した入院患者に対する退院時請求・支払が行える体制を定着化させるとともに支払に関する相談に応じる体制も確保する。</p> <p>やむなく未収金となった場合には、支払計画の作成を促すとともにその履行を確認し、早期の督促、催告を実施する。あわせて回収が困難と見込まれる未収金については、平成22年度末から実施した債権回収業務(弁護士法人)を引き続き委託することで、効果的、効率的な未収金回収に努め</p>				<p><b>項目番号 24</b></p> <p><b>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</b></p> <p>・在院日数、患者数等について定期的に分析、報告するとともに、病診連携などによる退院調整を促進し、適正な在院日数を維持しつつ、医療の質向上をふまえた入院単価の向上を図る。</p> <p>・施設基準の内容について精査を進め、算定項目の早期届出に努めるとともに、収益の向上のための情報収集、検証を進める。</p> <p>・高度医療機器の共同利用促進については、継続的に検査情報を提供しながらPRを進めるほか、Web検査予約サービスの導入を検討する。</p> <p><b>2 未収金の発生防止対策等</b></p> <p>・医療相談担当と医事担当との連携を図り、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入していく。</p> <p>・未収金管理システムを活用し、患者個々の状況に応じた適切な対応を図る。特に未収金管理にかかる標準的な処理手順を確立し、確実な収納を進めていく。</p> <p>・弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収に努める。未収患者及びその家族受診の場合は、窓口での収納に努める。</p>				<p><b>項目番号 23</b></p> <p><b>1 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用</b></p> <p>病床利用率については、常勤医師の確保により入院患者数の増加を目指すとともに、病棟ごとの利用率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理を徹底する。</p> <p>また、開放型病床の活用にも努め、地域の医療機関と共同で治療を行うことにより、病診連携の強化とともに収益確保を図る。</p> <p>医療機器については、医師確保により稼働率の向上を目指すとともに、有効活用の視点から開業医等の受託促進に努める。</p> <p>診療科毎の収益改善、医療費用の効率向上や削減に向けて取り組んで行く。</p> <p>・DPCデータ提出加算の取得によるデータ分析及び活用</p> <p>・地域包括ケア病棟の稼働率向上と効率的な運用</p> <p><b>2 未収金の発生防止対策等</b></p> <p>未収金の発生防止対策として、患者負担分の支払相談に早期に着手し、公的制度の利用確認等による発生を未然防止に努めるほか、発生リスクの軽減を図るため、クレジットカード収納の導入等を検討していく。</p>				<p><b>1 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用</b></p> <p>病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き実施。</p> <p>「地域包括ケア病棟」について、週2回の定例転棟会議を実施するとともに、急性期病棟の稼働状況に合わせ、臨時的転棟会議を実施するなど、効率的な運用により入院収益の向上を図った。</p> <p><b>【病床利用率(新病院:26年5月分から)】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東3</td> <td>63.3%</td> <td>68.3%</td> <td>70.4%</td> </tr> <tr> <td>東4(包括ケア)</td> <td>77.1%</td> <td>77.6%</td> <td>78.9%</td> </tr> <tr> <td>東5</td> <td>84.1%</td> <td>84.9%</td> <td>85.9%</td> </tr> <tr> <td>西3(回復期)</td> <td>92.5%</td> <td>91.3%</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>西4(包括ケア)</td> <td>60.0%</td> <td>77.8%</td> <td>79.6%</td> </tr> <tr> <td>西5</td> <td>70.2%</td> <td>83.2%</td> <td>84.7%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>74.0%</td> <td>80.5%</td> <td>81.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 届出病床数206床 注2) 東4: H26.9~地域包括ケア病棟移行 注3) 西4: H28.3~地域包括ケア病棟移行</p> <p><b>【その他の指標】</b> 単位: 収益:千円, 単価:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>55,812名</td> <td>60,489名</td> <td>61,098名</td> </tr> <tr> <td>1日平均入院患者数</td> <td>153名</td> <td>166名</td> <td>167名</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>14.4日</td> <td>13.6日</td> <td>12.6日</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>2,067,139</td> <td>2,194,896</td> <td>2,275,630</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>37,038</td> <td>36,286</td> <td>37,246</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>87,224名</td> <td>84,082名</td> <td>85,636名</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数</td> <td>359名</td> <td>346名</td> <td>351名</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>1,004,303</td> <td>967,636</td> <td>995,504</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>11,523</td> <td>11,508</td> <td>11,625</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益</td> <td>8,207</td> <td>9,128</td> <td>6,928</td> </tr> <tr> <td>受託検査収益</td> <td>1,976</td> <td>1,943</td> <td>2,337</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く 注2) 金額は税込で表示</p>				病棟	27年度	28年度	29年度	東3	63.3%	68.3%	70.4%	東4(包括ケア)	77.1%	77.6%	78.9%	東5	84.1%	84.9%	85.9%	西3(回復期)	92.5%	91.3%	87.1%	西4(包括ケア)	60.0%	77.8%	79.6%	西5	70.2%	83.2%	84.7%	全体	74.0%	80.5%	81.3%	項目	27年度	28年度	29年度	入院延患者数	55,812名	60,489名	61,098名	1日平均入院患者数	153名	166名	167名	平均在院日数	14.4日	13.6日	12.6日	入院収益	2,067,139	2,194,896	2,275,630	入院診療単価	37,038	36,286	37,246	外来延患者数	87,224名	84,082名	85,636名	1日平均外来患者数	359名	346名	351名	外来収益	1,004,303	967,636	995,504	外来診療単価	11,523	11,508	11,625	室料差額収益	8,207	9,128	6,928	受託検査収益	1,976	1,943	2,337
病棟	27年度	28年度	29年度																																																																																												
東3	63.3%	68.3%	70.4%																																																																																												
東4(包括ケア)	77.1%	77.6%	78.9%																																																																																												
東5	84.1%	84.9%	85.9%																																																																																												
西3(回復期)	92.5%	91.3%	87.1%																																																																																												
西4(包括ケア)	60.0%	77.8%	79.6%																																																																																												
西5	70.2%	83.2%	84.7%																																																																																												
全体	74.0%	80.5%	81.3%																																																																																												
項目	27年度	28年度	29年度																																																																																												
入院延患者数	55,812名	60,489名	61,098名																																																																																												
1日平均入院患者数	153名	166名	167名																																																																																												
平均在院日数	14.4日	13.6日	12.6日																																																																																												
入院収益	2,067,139	2,194,896	2,275,630																																																																																												
入院診療単価	37,038	36,286	37,246																																																																																												
外来延患者数	87,224名	84,082名	85,636名																																																																																												
1日平均外来患者数	359名	346名	351名																																																																																												
外来収益	1,004,303	967,636	995,504																																																																																												
外来診療単価	11,523	11,508	11,625																																																																																												
室料差額収益	8,207	9,128	6,928																																																																																												
受託検査収益	1,976	1,943	2,337																																																																																												

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																							
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>																																																																																							
<p>る。</p> <p><b>3 診療報酬改定に対応した各種施設基準への対応と取得</b></p> <p>平成28年診療報酬改定及びその後の改定に的確に対応し、収支の向上に繋がる施設基準についてはその体制整備等を行い、速やかに届出等を行う。また、届け出た施設基準、特に、総合入院体制加算や地域医療支援病院入院診療加算等収入への影響が大きい加算に係るものについては、その算定基準(要件)を維持し、そのための体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合入院体制加算：退院時診療情報添付加算算定割合 40%以上</li> <li>地域医療支援病院入院診療加算：紹介率 50%以上、逆紹介率 70%以上</li> </ul> <p><b>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</b></p> <p>当センターが指定を受けたDPC医療機関群II群を維持するため、診療密度、複雑性指数などの各指標について、診療内容等の分析、改善に取り組む。</p>	<p>○回収実績(年度末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額(単位:千円)</td> <td>147,186</td> <td>157,246</td> <td>165,886</td> </tr> <tr> <td>回収金額(単位:千円)</td> <td>59,950</td> <td>66,898</td> <td>75,693</td> </tr> <tr> <td>回収率(単位:%)</td> <td>40.7</td> <td>42.5</td> <td>45.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>○未収金発生状況(翌年度5月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>522</td> <td>50,184</td> <td>415</td> <td>46,813</td> <td>406</td> <td>50,843</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>319</td> <td>24,854</td> <td>263</td> <td>30,739</td> <td>246</td> <td>19,660</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>841</td> <td>75,038</td> <td>678</td> <td>77,552</td> <td>652</td> <td>70,503</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 総合入院体制加算として退院時の開業医への紹介率等の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合入院体制加算(退院時診療情報添付加算算定割合:40%以上)及び地域医療支援病院入院診療加算(紹介率:50%以上、逆紹介率:70%以上)の算定基準(要件)を大幅に超えることができた。</li> </ul> <p>○紹介率・逆紹介率等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(単位:%)</td> <td>64.1</td> <td>72.3</td> <td>75.3</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数(単位:件)</td> <td>16,440</td> <td>15,619</td> <td>15,954</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(単位:%)</td> <td>84.2</td> <td>94.1</td> <td>99.2</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数(単位:件)</td> <td>20,111</td> <td>20,338</td> <td>21,017</td> </tr> <tr> <td>退院時加算(単位:%)</td> <td>49.9</td> <td>48.5</td> <td>46.8</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DPCII群要件となっている診療密度等の各指標について、維持向上やベンチマーク分析を行った。また、診療報酬改定による新規項目で収益増につながるもの(特定集中治療室管理料1、総合入院体制加算2、認知症ケア加算等)については算定を行うよう対応し、体制整備により収益増につながると見込まれるもの(診療録管理体制加算1、看護職員夜間配置加算、入退院支援加算等)については院内で情報を共有し、必要なシミュレーションを行った。</li> </ul>		項目/年度	H27	H28	H29	委託金額(単位:千円)	147,186	157,246	165,886	回収金額(単位:千円)	59,950	66,898	75,693	回収率(単位:%)	40.7	42.5	45.6		H27		H28		H29		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年度分	522	50,184	415	46,813	406	50,843	現年度分	319	24,854	263	30,739	246	19,660	合計	841	75,038	678	77,552	652	70,503	項目/年度	H27	H28	H29	紹介率(単位:%)	64.1	72.3	75.3	紹介実施件数(単位:件)	16,440	15,619	15,954	逆紹介率(単位:%)	84.2	94.1	99.2	逆紹介実施件数(単位:件)	20,111	20,338	21,017	退院時加算(単位:%)	49.9	48.5	46.8	<p><b>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年齢別・地域別患者動向の検証を通じ、高齢化に伴う状況把握に努めた。また、近隣医療機関との連絡会議等を通じて、関係の強化、動向把握に努めた。</li> <li>医療政策において医療機能の分化・連携が推進される中、こうした行政政策に的確に対応できるよう救命救急センターや放射線診断部門の拡張、医療機器の更新等、各部門の意見を聞きながら基本設計を進めた。</li> <li>各種説明会への参加等により、中央社会保険医療協議会での検討状況等の早期把握に努め、診療報酬委員会等で情報提供を行うと同時に、関係部署との調整に努め、早期の算定を実現した。(抗菌薬適正使用支援加算、医療安全対策地域連携加算、急性期一般入院基本料Iなど)</li> </ul>	<p>発生した未収金に対しては、必要に応じて電話催告や臨宅を実施し、分納制度等を活用するほか、回収困難な事例については、少額訴訟制度の活用を活用し、未収金回収に努力していく。</p> <p>使用料・手数料については、県内の公立病院及び民間病院の状況を把握することで、適正な使用料・手数料の算定ができるよう努める。</p> <p><b>3 施設基準の取得</b></p> <p>非常勤医師の常勤化や経験年数等の資格を満たした医師の確保、医療スタッフの採用等により新たな施設基準の取得を目指す。</p> <p><b>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</b></p> <p>国の医療制度改革や診療報酬改定等については、情報収集を行い速やかに対応する。</p>	<p>(参考)</p> <p>【未収金の発生状況と未収額】(金額:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度件数</td> <td>214件</td> <td>185件</td> <td>161件</td> </tr> <tr> <td>未収金額</td> <td>7,665</td> <td>4,389</td> <td>5,480</td> </tr> </tbody> </table> <p>※未収金額は、翌年度4月末までに納付されなかった金額。</p> <p><b>3 施設基準の取得</b></p> <p>入院基本料7対1看護体制の維持とともに平成29年度に次の施設基準を届出・算定開始した。診療録管理体制加算については、常勤の診療情報管理士が確保できず下位変更となったが、引き続き取得に努める。</p> <p>&lt;基本&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療録管理体制加算2 平成30年1月1日取得(1から2へ下位変更)</li> </ul> <p>&lt;特掲&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用) 平成29年9月1日取得</li> <li>乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独) 平成29年9月1日取得</li> </ul> <p><b>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</b></p> <p>診療報酬の改定に対応するため、医事課及び経営企画課職員が、外部で行われた各種研修会へ参加するとともに、院内各部署への説明会を行った。</p>	項目	27年度	28年度	29年度	現年度件数	214件	185件	161件	未収金額	7,665	4,389	5,480
	項目/年度	H27	H28	H29																																																																																							
委託金額(単位:千円)	147,186	157,246	165,886																																																																																								
回収金額(単位:千円)	59,950	66,898	75,693																																																																																								
回収率(単位:%)	40.7	42.5	45.6																																																																																								
	H27		H28		H29																																																																																						
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																																																																					
過年度分	522	50,184	415	46,813	406	50,843																																																																																					
現年度分	319	24,854	263	30,739	246	19,660																																																																																					
合計	841	75,038	678	77,552	652	70,503																																																																																					
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																								
紹介率(単位:%)	64.1	72.3	75.3																																																																																								
紹介実施件数(単位:件)	16,440	15,619	15,954																																																																																								
逆紹介率(単位:%)	84.2	94.1	99.2																																																																																								
逆紹介実施件数(単位:件)	20,111	20,338	21,017																																																																																								
退院時加算(単位:%)	49.9	48.5	46.8																																																																																								
項目	27年度	28年度	29年度																																																																																								
現年度件数	214件	185件	161件																																																																																								
未収金額	7,665	4,389	5,480																																																																																								
過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由	過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由	過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由																																																																																						
昨年度の評価結果に対する取組状況	未収金回収や各種施設基準の対応が確実に実施できたことに加え、その他も継続的に取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。	昨年度の評価結果に対する取組状況	DPC分析等の効果によりDPC機能評価係数を引き上げることができ評価できるが、項目全体としては、平年並みの実績と評価	昨年度の評価結果に対する取組状況	継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。																																																																																						

# 県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

## 2-2-3 費用の削減

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																		
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に進捗した取組</li> <li>その他の主な取組</li> <li>今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価																																																																																																																
<p><b>項目番号 26</b></p> <p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品については、全国自治体病院協議会医薬品ベンチマーク・分析システム事業に参加するとともに、経費圧縮等に関するアドバイザーを活用することにより、医薬品の適正な管理、購入価格の削減に努める。</li> <li>診療材料については、他医療機関等の購入価格情報をコンサルタント等に委託し、情報収集するとともに、積極的な価格交渉を実施し、購入価格の削減に努める。</li> <li>S P D業務として各部署の棚卸を実施し、診療材料の適正な管理に努める。</li> <li>材料費について医薬収益の30%以下(高額医薬品及び重症心身障がい児施設を除く。)を目指す。</li> </ul> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <p>診療に支障を来さない後発医薬品への円滑な切り替えを推進し、後発医薬品指標(係数)が向上することに伴う収益の向上と、包括範囲におけるコスト削減に努める。</p>	<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品(ジェネリック医薬品)の効率的採用等による費用の削減を図った。</li> <li>コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減に取り組んだ。</li> </ul> <p>○医薬収益に対する材料費比率 単位: %</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料比率 ※1</td> <td>30.9</td> <td>31.4</td> <td>29.4</td> </tr> <tr> <td>(内 薬品費) ※2</td> <td>14.7</td> <td>15.6</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>(内 診療材料費)</td> <td>15.7</td> <td>15.2</td> <td>15.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 重症心身障がい児施設を除く ※2 H29 から高額医薬品を除く</p> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先発医薬品から後発医薬品(ジェネリック医薬品)に、院内コンセンサスを得ながら切替えを促進した。</li> </ul> <p>○ジェネリック医薬品使用率 単位: %</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対全医薬品 ※1</td> <td>20.9</td> <td>21.9</td> <td>24.9</td> </tr> <tr> <td>対後発医薬品がある医薬品 ※2</td> <td>80.7</td> <td>85.5</td> <td>84.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: [後発医薬品の数量] / [全医薬品の数量] ※2: [後発医薬品の数量] / ([後発医薬品のある先発医薬品の数量] + [後発医薬品の数量])</p>	項目/年度	H27	H28	H29	材料比率 ※1	30.9	31.4	29.4	(内 薬品費) ※2	14.7	15.6	13.2	(内 診療材料費)	15.7	15.2	15.6	項目/年度	H27	H28	H29	対全医薬品 ※1	20.9	21.9	24.9	対後発医薬品がある医薬品 ※2	80.7	85.5	84.3	IV	<p><b>項目番号 25</b></p> <p>1 在庫管理の徹底などによる費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>S P D運用管理業務を活用し、診療材料の院内在庫の抑制に努めた。</li> <li>診療材料について、同種材料の価格ベンチマーク徹底を図り、費用の節減を図る。</li> <li>「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、薬品及び診療材料にかかる費用の節減を図る。</li> <li>診療材料の納入業者の削減や納入方法などを検討し、効率的かつ費用削減を図る。</li> </ul> <p>2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品の新規採用については、現状の使用率80%以上を目途に適宜対応する。</li> </ul>	<p>1 在庫管理の徹底などによる費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>S P D運用管理業務を活用し、診療材料の院内在庫の抑制に努めた。またS P D運営管理業務の平成31年度契約更新に向け、S P D管理の貯蔵品以外の診療材料(医療現場に直接納品される診療材料等)を含めた一元的な在庫管理の実現や、使用期限管理、実績管理等を強化について検討を行った。</li> <li>診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、納入業者や納入品目の集約により診療材料費の節減に努めた。削減額(年間予定数量ベース): 約1,800万円 納入業者の集約: 28社 → 20社</li> </ul> <p>【医薬収益に対する材料費比率】 単位: %</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.62</td> <td>16.10</td> <td>15.91</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>10.12</td> <td>9.73</td> <td>10.34</td> </tr> <tr> <td>材料費全体</td> <td>26.03</td> <td>26.39</td> <td>26.32</td> </tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】 単位: 千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>2,459,254</td> <td>2,619,397</td> <td>2,689,702</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,592,602</td> <td>1,582,848</td> <td>1,747,406</td> </tr> </tbody> </table> <p>【後発医薬品(ジェネリック)の使用比率】 単位: %</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>69.90</td> <td>70.56</td> <td>72.60</td> </tr> <tr> <td>数量ベース</td> <td>82.44</td> <td>89.55</td> <td>93.05</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>35.70</td> <td>38.04</td> <td>34.60</td> </tr> </tbody> </table> <p>※使用比率は後発医薬品がある中での割合</p>	区分\年度	H27	H28	H29	薬品費	15.62	16.10	15.91	診療材料費	10.12	9.73	10.34	材料費全体	26.03	26.39	26.32	区分\年度	H27	H28	H29	薬品費	2,459,254	2,619,397	2,689,702	診療材料費	1,592,602	1,582,848	1,747,406	区分\年度	H27	H28	H29	品目ベース	69.90	70.56	72.60	数量ベース	82.44	89.55	93.05	金額ベース	35.70	38.04	34.60	IV	<p><b>項目番号 24</b></p> <p>1 在庫管理の徹底等</p> <p>薬剤・診療材料及び消耗品については、現場からの提案を取り込むほか、物流管理システムによる在庫管理を徹底するとともに、新規品目採用時には、原則として類似品目を廃止することで、費用の削減を図る。</p> <p>また、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)活動を推進することにより、作業効率の向上や不要在庫の減少などコスト削減に努める。</p> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <p>有効性・安全性を考慮しつつ、先発医薬品を後発医薬品に変えるよう努める。</p> <p>3 経営意識の向上</p> <p>毎月の経営情報を院内掲示板で提供することで、職員全員の経営意識を向上させ、一層の費用削減に繋げる。また、常にコストを意識し、経費、試薬、消耗品等の節約に努める。</p> <p>4 内部牽制機能の強化</p> <p>より安価でより効率的な物品の請求の際には各部署において責任者(看護部の場合は各セクション責任者から看護部)の承認を受けて請求する等の内部管理体制を徹底した。</p>	<p>1 在庫管理の徹底等</p> <p>医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・期限切れによる廃棄物品の削減など適正在庫の実現と在庫圧縮に努めることで費用削減を図ったほか、より安価な物品の発掘に努め、医療現場、各委員会でそれらの採用を諮り、積極的に類似物品の切り替えを実施した。</p> <p>【医薬収益に対する材料費比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>10.2%</td> <td>9.8%</td> <td>10.3%</td> </tr> <tr> <td>診療材料</td> <td>5.6%</td> <td>5.2%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>給食材料</td> <td>1.0%</td> <td>1.0%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>材料全体</td> <td>16.8%</td> <td>16.0%</td> <td>16.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <p>処方オーダーシステムを改善し、医師の後発医薬品への処方変更を容易にする環境を整えた。今後も、引続き後発医薬品の採用、先発薬品からの切り替えなどの検討を重ね、採用品目の見直しを図る。</p> <p>また、新規収載医薬品や新たな後発品の採用と使用頻度の少ない医薬品の整理により、品目ベースの比率は変動していないが、後発品の採用状況の変化により使用量ベースでは増加している。今後も使用頻度の変動を視察しながら、使用量の増加が見込める効率的な後発品の採用を考慮していく。</p> <p>【ジェネリック医薬品の採用比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>採用比率</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>9.3%</td> <td>9.2%</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>使用数量ベース(※)</td> <td>-</td> <td>31.4%</td> <td>37.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※後発医薬品 / (後発+先発医薬品)</p> <p>3 経営意識の向上</p> <p>○経営概要(業務量、収支状況)を院内の掲示板「サイボウズ」に掲示し、職員の経営意識の向上を図り、日々の業務において改善できることは直ぐに実行し、費用削減に努めた。</p> <p>○食材費について、食材メーカー、納入業者及び食材等の見直しを進めた結果、目標としていた1日1人当たり650円以下を達成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(税込金額)</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食材費/日・人</td> <td>668円</td> <td>643円</td> <td>638円</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 内部牽制機能の強化</p> <p>物品の請求の際は各部署において責任者(看護部の場合は各セクション責任者から看護部)の承認を受けて請求する等の内部管理体制を徹底した。</p> <p>平成28年度の総務課用度担当の執行内容を対象とした監査に引き続き、平成29年度は、経営企画課情報担当及び看護部の執行内容について内部監査を実施した。</p>	項目	27年度	28年度	29年度	薬品費	10.2%	9.8%	10.3%	診療材料	5.6%	5.2%	5.4%	給食材料	1.0%	1.0%	1.0%	材料全体	16.8%	16.0%	16.7%	採用比率	27年度	28年度	29年度	品目ベース	9.3%	9.2%	9.2%	使用数量ベース(※)	-	31.4%	37.8%	項目(税込金額)	27年度	28年度	29年度	食材費/日・人	668円	643円	638円	III
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																					
材料比率 ※1	30.9	31.4	29.4																																																																																																																					
(内 薬品費) ※2	14.7	15.6	13.2																																																																																																																					
(内 診療材料費)	15.7	15.2	15.6																																																																																																																					
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																					
対全医薬品 ※1	20.9	21.9	24.9																																																																																																																					
対後発医薬品がある医薬品 ※2	80.7	85.5	84.3																																																																																																																					
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																																					
薬品費	15.62	16.10	15.91																																																																																																																					
診療材料費	10.12	9.73	10.34																																																																																																																					
材料費全体	26.03	26.39	26.32																																																																																																																					
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																																					
薬品費	2,459,254	2,619,397	2,689,702																																																																																																																					
診療材料費	1,592,602	1,582,848	1,747,406																																																																																																																					
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																																					
品目ベース	69.90	70.56	72.60																																																																																																																					
数量ベース	82.44	89.55	93.05																																																																																																																					
金額ベース	35.70	38.04	34.60																																																																																																																					
項目	27年度	28年度	29年度																																																																																																																					
薬品費	10.2%	9.8%	10.3%																																																																																																																					
診療材料	5.6%	5.2%	5.4%																																																																																																																					
給食材料	1.0%	1.0%	1.0%																																																																																																																					
材料全体	16.8%	16.0%	16.7%																																																																																																																					
採用比率	27年度	28年度	29年度																																																																																																																					
品目ベース	9.3%	9.2%	9.2%																																																																																																																					
使用数量ベース(※)	-	31.4%	37.8%																																																																																																																					
項目(税込金額)	27年度	28年度	29年度																																																																																																																					
食材費/日・人	668円	643円	638円																																																																																																																					

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己評価
過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由	
昨年度の評価結果に対する取組状況	<p>材料比率について29.4%と年度計画の目標を達成できたことに加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>		昨年度の評価結果に対する取組状況	<p>納入業者の集約やベンチマーク等による分析、医療コンサルタントの活用により効果的に価格交渉に臨むことができ、材料費の節減で一定の成果を得た。</p>		昨年度の評価結果に対する取組状況	<p>継続的な取り組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。</p>	